

区は、令和3(2021)年度から令和8(2026)年度までを計画期間とする港区基本計画に基づいて取組を推進しています。このたび、令和5(2023)年度が中間年度に当たることから、計画策定以降の新型コロナウイルスの感染拡大をはじめとした社会経済情勢の影響や区民ニーズの変化等を踏まえて計画内容を見直し、港区基本計画・実施計画(素案)を作成しました。本素案について、区民等の皆様からのご意見を伺いながら更に検討を重ね、令和6(2024)年1月末を目途に、港区基本計画を改定する予定です。

アフターコロナの新時代に向けて、区民とともに輝く未来を創る [P.2]

改定を経た港区基本計画を区政の新たな道しるべとし、先人たちがたゆまぬ努力によって築き上げてきた日本有数の都市である港区を、子どもから若者、子育て世代、高齢者まで、あらゆる世代が住み続けられるまちへと進化させ、全国をけん引する「唯一無二の都市」へと輝かせていきます。

計画改定の趣旨 [P.6]

- 区民生活と区内産業を支え「活力」をまちに呼び起こす
- 関東大震災100年を節目に「強靱」なまちづくりを加速する
- 次代を担う「子ども」を地域全体で育むまちづくりを一層推進する
- 社会課題を乗り越え「誰もが安心して住み続けられるまち」を実現する

めざすまちの姿 [P.8]

「めざすまちの姿」は、港区基本計画がめざす到達点です。みなとタウンフォーラムの提言や区民意識調査で寄せられた意見を踏まえて創り上げた「誰もが住みやすく、地域に愛着と誇りを持てるまち・港区」の実現をめざします。

誰もが住みやすく、地域に愛着と誇りを持てるまち・港区

区民一人ひとりが大切にされ、多様性を認め合い、港区への愛着と誇りを持って活発なコミュニティが醸成されているまち



誰もが住みやすく、夢に向かって挑戦し、いきいきと輝きながら躍動するまち



あらゆる危機に強く、誰もが安全に安心して暮らすことができ、環境負荷の少ない持続可能なまち



進歩する先端技術が区民サービスに活用され、便利で快適な区民生活が実現している最先端のまち



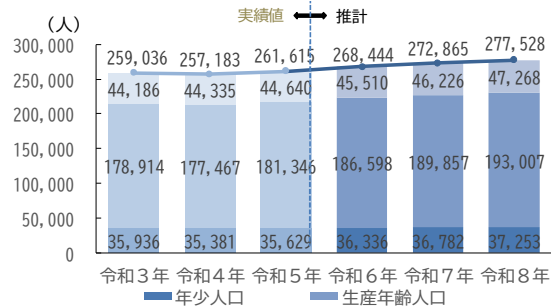
人口の想定 [P.22]

毎年約4,000人～7,000人増加※

令和9(2027)年1月1日の想定人口
人口 282,317人

※計画最終年度の令和8(2026)年度までの間

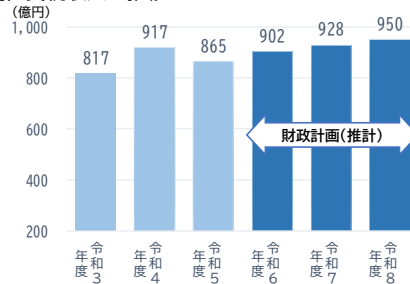
▶港区の人口の推移



財政収支の見通し [P.25]

<歳入>
特別区民税収入は、コロナ禍においても堅調に推移
<歳出>
アフターコロナの新時代に向けて、区民とともに輝く未来を創る施策を積極的に展開

▶特別区民税収入の推移



重点課題 [P.32]

踏まえるべき社会変化を見据え、港区のめざすまちの姿を実現するため、重点的に解決すべき課題を設定し、分野横断的に取組を進めます。

- 1 希望あふれる「にぎわいと活力に満ちた都市」の実現
- 2 あらゆる危機から区民の命を守る「強靱な都市」の実現
- 3 地域全体で育む「子どもの笑顔あふれるまち」の実現
- 4 まちの発展と環境負荷の低減を両立する「持続可能な都市」の構築
- 5 多様な人がともに支え合いながら暮らす「地域共生社会」の実現
- 6 「人口増加」に伴い拡大する行政需要への的確な対応
- 7 区民サービスを飛躍的に向上する「港区版DX」の加速化
- 8 地域の力を結集して課題を解決する「参画と協働」の推進

めざまちの姿「誰もが住みやすく、地域に愛着と誇りを持てるまち・港区」を実現するため、各分野における区政の方向性を示し、行政サービスを効果的に展開していきます。

I かがやくまち (街づくり・環境)

快適で便利な、そして災害に強く、安全安心なまち、持続可能な環境にやさしいまちを、ともに作りまします。

地震などの自然災害の 防災対策の充実



帰宅困難者対策訓練

2050年ゼロカーボンシティ達成に 向けた脱炭素化の推進



再生可能エネルギーの導入拡大

III はぐくむまち (福祉・保健・教育)

子どもたちの学びと育ちを支えます。誰もが地域で支え合いながら自分らしく生活し、スポーツや多様な学習に参加できる環境を整えます。

子育て支援サービスの充実



子育てひろばでのイベント

心豊かで健康な生活への支援



介護予防のためのヨガ教室

II にぎわうまち (コミュニティ・産業)

多様なコミュニティと、豊かな国際性を生かした多文化共生社会を。港区からブランド性ある産業・文化を発進します。

日本語学習や文化交流を きっかけとした外国人の 地域参画の推進



Minato Blossom Festa

産学官の連携を地域社会の発展に つなげる効果的な産業の創出



オープンイノベーションフェア

IV 実現を めざして

先端技術や、港区ならではの行政資源を活用し、利便性の高い区民生活を実現。平和や人権、多様な価値観を尊重しながら、透明性が高い、開かれた区政運営を推進します。

便利な区民生活を実現する 情報化の推進



DX推進リーダーの育成

民間の力を活用した 施策の推進



プロスポーツチームによるラグビー
体験教室

区民生活に大きな影響を及ぼす課題や中長期的な視点から計画的に取り組むべき課題に対し、複数年にわたって財源を担保して、年次計画により進める34事業を計上しています。

■主な計画事業

(仮称)南青山二丁目公共施設



障害者グループホーム、
小規模多機能型居宅介護施設、
区民協働スペース
令和7(2025)年4月開設予定

六本木三丁目児童遊園



令和7(2025)年度開園予定

赤羽幼稚園



令和8(2026)年9月運用開始予定

みなと芸術センター



浜松町二丁目地区市街地再開発事業
令和9(2027)年度開館予定